

2020

9

O's News

MRIで脳がここまで見える

脳神経外科部長 福留 賢二

MRIとは、磁気共鳴画像 (Magnetic Resonance Imaging) の略です。放射線は使用せず、強い磁石と電磁波を使って体の内部の情報を画像化したものです。大きなトンネル型の装置に強力な磁場を発生させて、ある周波数の電波を体に当てることによって、体の中から放出される信号を受信しコンピュータで計算することで、体の様子を画像化しています。

当院は4台のMRIを有し、主に脳や脊髄に対し利用していますが、MRIの様々な撮像法を組み合わせることにより脳卒中、脳・脊髄腫瘍、変性病変など、1mm程度の微細な異常まで簡単に見分けることができます。

以下、特徴的な撮像方法を3つご紹介します。

①MRA(MR Angiography)…造影剤は使用せず、脳血管を描出することができます。非常に良く用いられ、これにより、偶然に脳動脈の狭窄や脳動脈瘤などが発見されることも多いです。

②DTI(Diffusion Tensor Imaging)…神経線維の可視化が可能です。例えば手術前に神経線維の走行と、腫瘍や血腫との位置関係を把握しておく、または統合した

画像(fusion imaging)を作製することで、神経線維を温存した安全な手術が可能となります。

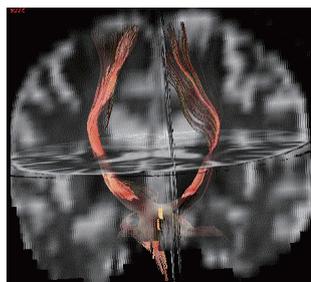
③ASL(Arterial Spin Labeling)…造影剤を使用せず、大まかな脳血流の評価が可能です。これにより血流が足りていな

い脳虚血や、反対に例えばてんかんの原因や結果となるような、血流が多すぎる状態である過灌流を把握することができます。

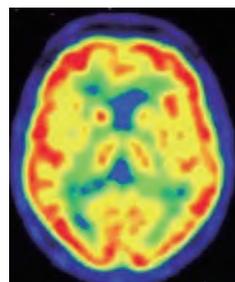
その他にもいろいろな撮像法があり、ブラックボックスと言われる脳、また脊髄を含めあらゆる面から分析することができます。無症状であっても、隠れ脳梗塞や、動脈硬化、脳動脈瘤が見つかることもあります。それらを早期発見することで、最善の治療方法や予防策をたてることができますので、健康な方でも1度は脳ドックでの脳MRI検査をお勧めします(ただし体内金属などにより、MRI検査ができない場合もありますのでご注意ください)。



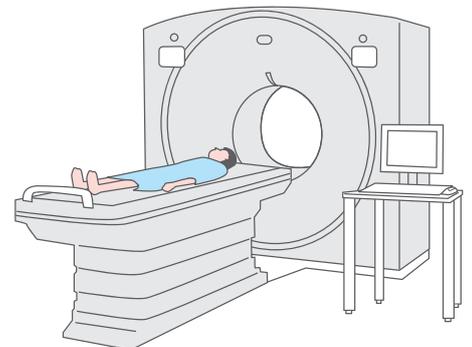
①MRA



②DTI



③ASL



南4階病棟の取り組みについて

看護部南4階病棟
副主任 山岡 夕子

HCUが4月から新設され、現在スタッフ一丸となって、円滑に運営するための取り組みを行っています。

HCUでは脳腫瘍患者をはじめ、未破裂動脈瘤や内頸動脈狭窄症、脳卒中、今まで南4階病棟では受け入れのなかった頸椎・脊椎疾患などの幅広い疾患の患者さんを受け入れています。

HCUは在室日数がそれほど長くないため、一般病棟での継続看護がスムーズに行えるよう、看護計画の評価をリアルタイムに行い、情報共有のカンファレンスを行うように、病棟スタッフとも連携して行うようにしています。



短期間で患者さんが入れ替わるため、試行錯誤しながら、円滑な運用が行えるよう、病棟スタッフとも相談しながら、日々運用方法を手探りで模索しているところです。

血管造影検査と血管内治療

放射線科科長 佐藤 直隆

血管造影とは、血管の状態や血液の流れを調べるための検査です。大腿の付け根又は腕の動脈から、細いカテーテルと呼ばれる管を目的の血管まで通し、造影剤を流しながら撮影します。血管が狭くなったり詰まったりしていないか、動脈瘤ができている場所また大きさはどうなのか、腫瘍を栄養している血管はどれかなど、血管が関係している疾患を詳しく調べることができます。検査の後狭くなった血管を広げたり、詰まった血管を再開通させたり、動脈瘤をプラチナのコイルと呼ばれるもので塞栓したりなど、必要に応じ治療を行うのが血管内治療です。



SIEMENS
ARITIS icono D-Spin

現代社会において脅威である脳卒中の治療に迅速に対応できるよう、7月には脳血管に特化した最新の血管撮影装置を導入しました。これによりスピーディかつ高度な治療に対応できる環境を整えています。



日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

ながつき

長月

涼しい秋の風、聞こえてくる虫の音に、心安らぐ季節になりました。夜が少しずつ長くなる「長月」。

十四節気

処暑

しよしよ

9/2~6(第四十二候) 禾乃登 / こくものすなわちみのる

夏空の下、青々と広がっていた田んぼも黄金色に変わり、実りの季節です。明石、神戸(西区)特産の無花果(イチジク)。「日毎に一熟す」→一熟(イチジク)の由来とも言われる程、収穫期と鮮度が大切な果実。実の中に無数の白い花を咲かせています。



十五節気

白露

はくろ

9/7~11(第四十三候) 草露白 / くさのつゆしろし

朝晩の気温が下がり、草に降りた朝露が美しく光ります。「月見る月はこの月の月」と心待ちにしている「中秋の名月」。十五夜の前夜の月は「待宵(まつよい)」「十五夜」「十六夜(いざよい)」「立待月(たちまちつき)」「居待月(いまちづき)」…と呼び名が続きます。昔の人は月の出を待ち、ずっと身近に感じていたのですね。



9/12~16(第四十四候) 鵲鴿鳴 / せきれいなく

せきれいが鳴く頃。きのご類も美味しくなります。高級食材の代名詞「松茸」。かつて里山で豊富に採れた庶民の味でしたが、松林の衰退で収穫量が減りました。最近では中国、韓国、カナダ産が主流です。松茸ご飯、土瓶蒸しなどその香りは秋の味覚です♡



9/17~21(第四十五候) 玄鳥去 / つばめさる

春に生まれた子つばめ達も成長し、数千キロを飛び南国へ帰る頃です。昔からお月見に供えられた「衣被(きぬかつぎ)」皮のままゆでた里芋ですね。日本では縄文時代から食され、じゃが芋やさつま芋が出回るまでは芋といえば里芋のことでした。

「いづくにも今宵の月を見る人の心やおなじ空にすむらん」藤原忠教の空気が澄んで、月のきれいな季節になりました。

十六節気

秋分

しゅうぶん

9/22~27(第四十六候) 雷乃収声 / かみなりすなわちこえをおさむ

雷が多い年は豊作といわれるとかー。入道雲も見えなくなり、秋の高い空がひろがります。青紫色の鐘形をした美しいりんどうの花。「竜胆」というその由来は漢方薬として古くから利用される根が「竜の肝の様に苦い」という理由から。



9/28~10/2(第四十七候) 蟄虫坏戸 / むしかくれてとをふさぐ

小さな虫たちが冬支度を始める時期。街を散歩していると、どこからともなく金木犀の花のよい香りが一。九里先まで匂うということで「九里香」とも呼ばれます。樹皮の様子が動物のサイ「犀」の皮膚に似ており、金色の花を咲かせるので、金木犀と呼ばれます。



仏教国の日本、極楽浄土は真西の遠方にあると言われ、彼岸の日の夕日を見送り、亡くなった人をしのびました。

今月の野菜

トマト

その1

ナス科ナス属 原産地:南アメリカ高原地帯

草丈:3mくらい 一年草 ※原種は多年草 花言葉:「完成美」「感謝」

さて、野菜の人気投票一位は?「トマト」です。

太陽の日差しをたっぷり浴びたまっ赤なトマト、美味しいですね。日本へは江戸時代に「唐柿」「赤茄子」という呼び名で伝わりました。1709年「大和本草」の中で、貝原益軒により紹介されています。しかし、当時赤い実には毒性が強いものが多く敬遠されたことと、独特の酸味と匂いが好まれず、観賞用でした。普及したのは戦後のことです。

「トマト」というユーモラスな名前は「ふくらんだ果実」という意味のアステカ文明の「トマトゥル」に由来するとか。世界中に8000種類以上存在するというのですから驚きですね。

つづく(8-8)



外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	福留	角田	前岡	松岡
	午後	高橋〈血〉	福留〈FUS〉	角田	前岡	松岡〈脊〉
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	片山
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	内科 電門(カマド) 第4週 てんかん 田村	神経内科 小坂田
	午後	脊髄・脊髄外来 山本	脊髄・脊髄外来 山本	脊髄・脊髄外来 山本	第1・3週 神経内科 山下 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

(2020.9)

連携協力医療機関のご紹介(No.206)

葵クリニック
葵リハビリステーション

院長:山本 博光

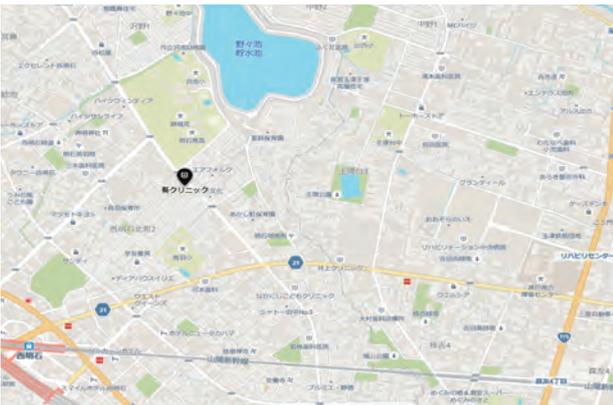
【診療科目】内科・整形外科・リハビリテーション科

【住所】兵庫県明石市明南町1丁目4-8

【電話】078-939-7778

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～ 【受付時間】9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
14:00～ 【受付時間】14:00～19:30	○	○	○	/	○	△ ～18:00	/

休診日:木曜、日曜、祝日



山本院長からのメッセージ

葵クリニックは7/20より明石市明南町へ移転し、新たな診療科目に整形外科を加え、内科、整形外科となり、更に地域医療に根付いた医療を提供できる様尽力して参ります。又、2診体制をとった事から更に在宅医療にも尽力して参ります。通院困難等がありましたら当院から医師が伺います。お気軽にご相談頂ければと思います。

連携協力医療機関のご紹介(No.207)

しげやま内科
クリニック

院長:茂山 豊

【認定資格】神戸大学大学院医学系研究科博士課程修了:医学博士(糖尿病分野:膵β細胞研究)、日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医

【診療科目】内科・消化器内科・糖尿病内科

【住所】神戸市西区伊川谷町有瀬1052-1

【電話】078-975-5353

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	★	/
16:00～19:00	○	○	/	○	○	/	/

★土曜日は13:00まで診療

※内視鏡は予約制で実施しております(受診必要)

休診日:水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



茂山院長からのメッセージ

風邪から専門的な病気まで幅広く診療いたします。地域の皆様がお気軽に相談できるかかりつけ医を目指します。

